

(平成 29 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：ICTを活用した京都オリジナル生産技術の開発

(「革新的技術開発・緊急展開事業」(うち地域戦略プロジェクト))

情報

ICTによる万願寺とうがらしハウスの土壤水分の見える化

農林センターでは低コストICT機器(土壤水分などを測定)による万願寺とうがらしの生産向上を確立するため、平成28年度から国や他県と共同研究を進めています。

9月8日、舞鶴市内の現地実証ほ場に研究関係者が集まり、本年導入したICT機器の効果について意見交換したところ、「土壤水分センサーにより地下の状態が分かるため、適切な水分管理に効果的である」などの意見がありました。

今後、生産現場でさらに使いやすい技術にするため、土壤水分センサーと給水管開閉バルブを組み合わせ、安価な自動かん水装置を開発します。



ICT機器の効果をハウスで意見交換



設置した土壤水分センサー
(センサー部分は地下15cmに埋設)